

## 平成26年度 第6回公立大学法人鳥取環境大学経営審議会 議事要旨

- 日 時 平成27年3月19日(木) 13:30~15:40
- 場 所 鳥取環境大学 大会議室(本部講義棟3階)
- 出席者 高橋一委員、河原正彦委員、三野徹委員、若原道昭委員、岡部哲彦委員  
林田英樹委員、山田憲典委員、吉田圭子委員、渡邊良人委員 [8名/10名]  
葉狩弘一監事、松本美恵子監事 [2名/2名]
- 欠席者 若原道昭委員、藤縄匡伸委員

### 【議事】

- 1 前回議事要旨の確認  
原案のとおり了承
- 2 審議事項
  - (1) 平成26年度補正予算(第4回)について  
資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。
  - (2) 平成27年度 年度計画について  
資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。
  - (3) 平成27年度当初予算について  
資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

### 【質疑】

- ・入試状況を見ると、応募者がかなり減っているが、対策に相当力を入れるべきである。  
インターネット出願を導入した岡山理科大学では志願者数が増加し、効果を出したと聞いている。来年度の予算で入試対策は検討されているか。  
→昨年の志願者数は予想以上に多かった。今年度は、隔年傾向もそれほどではなく落ち着いている。応募者が、定員の実質3倍あれば、良い学生を確保できるのではないかと考えている。  
また、今年度は地元普通科からの入学予定者も増えており、学生の質を見極めたい。
- ・インターネット出願は、岡山理科大学でも導入当初は事務サイドから処理が煩雑であるなどと反発があったものの、実際に運用すると、事務処理は簡素化できるということである。  
効果的であると思われるので、ぜひ鳥取環境大学でも導入していただきたい。  
→インターネット出願について、担当課からも意見が上がっているので、今後検討していく。
- ・平成27年度収入予算について、目的積立金を大きく取り崩している理由は何か。  
→平成26年度はまだ決算後の数字が出ていないため、取り崩しをしているものであり、決算結果が出れば、取り崩すことはないと思込んでいる。
- ・国際化をめざすのであれば、留学生の獲得も重要である。英語版大学ホームページを早急に作成していただきたい。  
→早期に対応する。
- ・学生にスクールバスの費用負担を求めることは、学生にとっては大きな負担であり、金額などよく配慮していただきたい。  
→日本交通と検討を重ね、大学の授業に合わせたダイヤにしてもらうこと、通学時間等に合

わせて一部増便をしてもらうなど、討議した結果、この予算で決定した。

大学の休業日や夏休み等授業の無い期間も乗車できるようにし、利便性も上がったほか、地域活性化へも一役買うようなシステムになったので、理解を得たい。

(4) 公立大学法人鳥取環境大学業務方法書の変更について  
資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

(5) 公立鳥取環境大学情報セキュリティ基本方針について  
資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

#### 【公立鳥取環境大学諸規程の一部改正について】

下記(6)～(7)の諸規程について、資料に基づき説明があり、以下のとおり質疑があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

(6) 公立大学法人鳥取環境大学組織規程の一部改正について

(7) 公立大学法人鳥取環境大学に置く職及びその選考に関する規程の一部改正について

(8) 公立大学法人鳥取環境大学役員報酬規程

(9) 公立大学法人鳥取環境大学役員退職手当規程

(10) 公立大学法人鳥取環境大学職員就業規則の一部改正について

(11) 公立大学法人鳥取環境大学嘱託職員就業規則の一部改正について

(12) 公立大学法人鳥取環境大学職員給与規程の一部改正について

(13) 公立大学法人鳥取環境大学職員退職手当規程の一部改正について

(14) 公立大学法人鳥取環境大学の授業料等及びその他の料金に関する規程の一部改正について

(15) 公立大学法人鳥取環境大学会計規則の一部改正について

#### 【質疑】

- ・企画広報課に入試担当と広報担当を設けるということか

→現状、入試広報課として、入試に関わる広報に特化していたが、総合的に企画広報課として広報と入試という専門分野について両立させるようにした。

- ・大学として求人に力をいれている結果ということか。

環境学部であれ、経営学部であれ、「環境」の何を学んだのか、ということ、企業側としては知りたいと思う。

公害等、環境について、世間の注目も高まっており、鳥取市はどのようにして環境を保護しているのか、どのような農作物を作っているのか等、鳥取環境大学ではどのように活動しているのかを学生がアピールできるようにすべき。

大学の事務組織名を「企画広報」とするのであれば、そういったことにも力を入れてほしい。

→「環境大学」の学生の特徴とは何かを広報戦略の中にも入れていきたいと考えている。

- ・鳥取環境大学という大学が、環境問題にいかに関わり、学生がそこでどのようなことを学んでいるのか、ということが注目されている。

→中国地方でも公立化する大学が増えることから、一層大学の個性を強調していく必要がある。

- ・エコ検定とは、環境大学独自の検定か。

→商工会議所主催の「環境社会検定試験」のことであり、一般の方も受ける検定である。

### 【公立大学法人鳥取環境大学諸規程の制定について】

下記(16)～(18)の諸規程について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

- (16) 公立大学法人鳥取環境大学私費外国人留学生の授業料等の減免に関する規程の制定について
- (17) 学生部長の廃止と副学長業務の整理に関する規程
- (18) 学生部長の廃止と副学長業務の整理に関する細則

### 3 報告事項

#### (1) 近況報告

資料に基づき、報告があった。

#### 【質疑】

- ・就活開始時期が遅くなったことは、大学にとってどのような影響があるか。  
→企業側の採用情報として、8月に選考・面接開始を遵守するところは少ないように思う。  
学生には、油断せず、春休みを無駄にしないよう周知徹底させている状況

#### (2) 公立鳥取環境大学実験研究棟新築工事について

資料に基づき報告があった。

#### (3) 平成27年度入試実施状況

資料に基づき報告があった。

#### (4) 平成28年度入試日程

資料に基づき報告があった。